

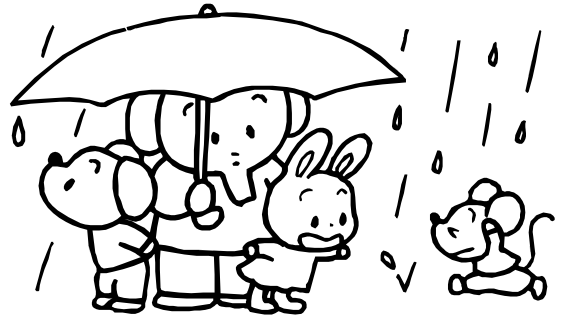


2024.6.21

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

父母の会活動スタート

今年度も熱意ある皆様が集まってくださって、父母の会役員が結成されました。1年間、色々とお世話になりますがよろしくお願ひ申し上げます。役員への意欲があってもご家庭の様々な事情で、残念ながら役員として参加できない方もみえると思います。父母の会活動は保護者様全員が会員であり、お一人おひとりの力によって支えていただく活動ですので、これからの行事参加で応援して下さるようお願い申し上げます。



先日も役員の皆様から行事についてのご要望をいただきました。園としましてはまず「園児ファースト」で取り入れるかどうか検討していきたいと考えております。そのうちの1つ、「遠足の付添いのお手伝いはいかがでしょうか。」とご提案をいただきました。確かに園外に出かけると、広い公園内でトイシで用を足す、遊具で遊ぶ、お弁当を広げる等々、大勢の園児を見るのに人手は重要で、『そのお手伝いを』というお気持ちは大変ありがたいと受け止めました。

でも、子どもたちの目線からすると、「〇〇ちゃんのお母さんはいるのに、どうして自分のお母さんはいないの?」となり、せっかくの楽しい遠足なのに気持ちが沈んでしまうお子さんもみえるでしょう。「役員さんだから。」という大人のルールは理解できないと思います。

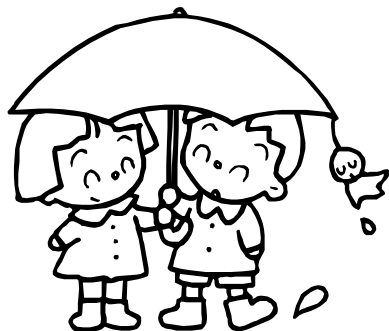
このようにご提案いただいた件については、園児たちや保護者の皆様全員のことを考え、不公平が生じない形で出来るかどうか、保育の流れや所要時間等、あらゆる角度から考慮し職員全員で検討してまいりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

心をコントロールすること

最近のニュースで、こんな事件がありました。夜中までゲームで遊んでいたことを父親に注意され、父親に暴行を加え重傷を負わせた男子高校生がいました。さらに1年前の事件ですが、スマホの使い方を注意された女子中学生が、母親を刺殺してしまったという事件もありました。2人に共通していたものは、親に叱られた瞬間に「親を殺そうと思った」という極限まで心が達していたということです。

そこに至るまでには、家庭の様々な事情、日常の親子関係など様々な要因があったと思いますが、日頃の気持ちのすれ違いが少しずつ深まり、取り返しのつかないことになってしまったと想像します。親にしてみれば、社会に出たときに独り立ちできるようにとの思いで、叱ったりほめたりしながら成長を育ててきたのに、一瞬の怒りによって悲惨な事件となってしまいました。どうして、こんなことになってしまったのでしょうか。

どのお子さんも幼い頃は、自己中心的で興奮しやすく、自分を自制するという力が未熟です。わがままを通そうとした時に、親や周りの人たちが壁になって、なぜいけないのかを理解しながら、自分の心を自制していくことを学んでいきます。家庭の中で親に叱られ、兄弟や遊び仲間たちと一緒にぶつかり合い、さらに幼稚園や学校という集団生活の中で、「自制」や「我慢」ということを覚えていくのです。



どのご家庭でも、成長段階で親とぶつかることがあります。だからこそ親子の信頼関係をしっかり築いておくことが重要と考えます。これは「子育てを厳しくしてください」ではなく、正しい判断力が未熟なお子さんに、「自制」や「我慢」という判断力を、親としてしっかり伝えてあげてくださいとお願いしたいのです。

少し重いテーマになってしまいましたが、かわいい子どもたちだからこそ、まっすぐに成長してほしい、どの家庭も笑顔があふれるようになってほしい、との思いから書かせていただきました。